

平成 24 年の気象概況

(1月)

【天気概況】

冬型の気圧配置となる日が多く、美濃地方では曇りの日もありましたが、晴れの日が多くなりました。飛騨地方では、雪の降った日が多くなり、25日から26日は、強い寒気が南下して大雪となりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年より低くなりました。月降水量は岐阜、高山ともに平年より少なくなりました。月間日照時間は岐阜、高山ともに平年より少なくなりました。

【上旬】冬型の気圧配置となり、山地を中心に雪の降った日が多くなりました。

【中旬】前半は冬型の気圧配置の日が多くなり、曇りで、山地では雪や雨の降った日が多くなりました。後半は、天気は周期的に変わりました。旬の終わりには、南海上の低気圧の影響で、この時期としては雨量が多くなりました。

【下旬】冬型の気圧配置の日が多くなり、美濃地方では晴れた日もありましたが、飛騨地方では曇りで、山地を中心に雪の降った日が多くなりました。旬の中頃には、強い寒気が南下して、山地では大雪となった日がありました。

(2月)

【天気概況】

上旬から中旬は、低気圧の影響で雨や雪が降った日や高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置となる日が多くなりました。下旬は短い周期で天気が変わりました。

月平均気温は岐阜では平年より低くなり、高山では平年並となりました。月降水量は岐阜では平年よりも多くなり、高山では平年並となりました。月間日照時間は岐阜、高山ともに平年より少なくなりました。

【上旬】はじめと終わりは冬型の気圧配置となり、強い寒気が南下して平地でも雪の積もった日がありました。中頃は南岸の前線や低気圧の影響で、平地を中心に雨の降った日がありました。

【中旬】はじめと終わりは高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置の日が多くなりました。なお、中頃には南岸の前線や低気圧の影響で雨や雪の降った日がありました。

【下旬】天気は周期的に変化しました。

(3月)

【天気概況】

上旬は、本州の南岸の前線や低気圧の影響で、天気のがずついた時期がありました。中旬以降は、天気が周期的に変わりました。気圧の谷の通過後は寒気が南下しやすく、しばしば冬型の気圧配置となり、平地では晴れた日もありましたが、山地では雪や雨が降りました。月平均気温は岐阜、高山ともに平年並となりました。月降水量は岐阜、高山ともに平年よりかなり多くなりました。月間日照時間は岐阜では平年並となり、高山では平年より少なくなりました。

【上旬】はじめは高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、その後は低気圧や前線などの影響により雨や雪の日が多くなりました。

【中旬】前半や旬の終わり頃は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、寒気の南下した12日には、山地では大雪となり、美濃地方でも積雪となりました。後半の中頃には、前線や気圧の谷の影響で、曇りや雨となりました。

【下旬】天気が周期的に変わりましたが、中頃は強い寒気が南下し冬型の気圧配置となり、山地では大雪となった日がありました。また、23日と31日は低気圧や前線の影響で雨が降りました。

(4月)

【天気概況】

上旬は寒気が南下して気温がかなり低くなり、気圧の谷の通過後はしばしば冬型の気圧配置となりました。中旬以降は天気が短い周期で変わりましたが、下旬には高気圧に覆われて晴れの日が続いた時期もありました。月平均気温は岐阜、高山ともに平年並となりました。月降水量は岐阜、高山ともに多くなりました。月間日照時間は岐阜では少なく、高山ではかなり少なくなりました。

【上旬】高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

【中旬】前半は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなり、11日は低気圧の影響で大雨となりました。後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、旬の終わりには気圧の谷の影響で雨が降りました。

【下旬】はじめは低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。中頃からは高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。

(5月)

【天気概況】

上旬や下旬は、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、所々で雨や雷雨となった日がたびたびありましたが、月を通してまとまった雨の降った日は少なくなりました。また、中旬には高気圧に覆われて晴れの日が続いた時期がありました。

月平均気温は岐阜では平年並となり、高山では低くなりました。月降水量は岐阜、高山ともかなり少なくなりました。月間日照時間は岐阜では多くなり、高山では少なくなりました。

【上旬】低気圧や上空の寒気の影響で、曇りの日が多く、日照時間が少なくなりました。

雨の降った日もありましたが、降水量はかなり少なくなりました。

【中旬】前半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、上空の寒気の影響を受けた日もありました。後半は気圧の谷や寒気の影響を受けやすく、短い周期で天気が変わりました。

【下旬】前半は天気が周期的に変化しました。後半は上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、所々で雷雨となった日が多く、特に28日はこの時期としては強い寒気が南下したためひょうの降った所がありました。

(6月)

【天気概況】

中旬の後半から下旬のはじめにかけては活動の活発な梅雨前線や台風の影響で雨の日が多く、大雨となった日もありましたが、その他の日は梅雨前線が本州の南岸上に停滞して曇りや晴れの日が多くなりました。なお、東海地方は6月8日頃梅雨入りしたとみられます。

月平均気温は岐阜では低くなり、高山では平年並となりました。月降水量は岐阜では平年並となり、高山では少なくなりました。月間日照時間は岐阜では少なくなり、高山では多くなりました。

【上旬】天気が周期的に変化しました。

【中旬】梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなりました。16日から17日は梅雨前線の活動が活発化して大雨となり、また19日は台風第4号が東海地方を通過して大雨となりました。

【下旬】オホーツク海高気圧が北日本から東日本を覆う一方、梅雨前線は九州南部から本州の南海上に停滞した日が多くなりました。このため、岐阜県では、旬のはじめに大雨となった日もありましたが、曇りまたは晴れの日が多くなりました。

(7月)

【天気概況】

月の前半は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。後半は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、20日から22日は本州付近が気圧の谷となって天気がぐずつき大雨となった日もありました。

なお、東海地方は7月23日ごろ梅雨明けしたとみられます。

月平均気温は岐阜、高山ともに高くなりました。月降水量は岐阜では平年並となり、高山では多くなりました。月間日照時間は岐阜、高山ともに平年並でした。

【上旬】旬の終わりは高気圧に覆われて晴れましたが、その他の日は梅雨前線の影響で雨の日が多く、梅雨前線の活動が活発で大雨となった日もありました。

【中旬】旬のはじめから中頃までは、梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が不安定となり曇りや雨の日が多くなりました。また、旬の終わりは太平洋高気圧に覆われ晴れて気温が上昇し大気の状態が不安定となり、所々で非常に激しい雨が降りました。

【下旬】旬のはじめは南からの湿った空気や気圧の谷の影響で雨や曇りとなりました。その後は太平洋高気圧に覆われて概ね晴れましたが、28日と29日は午後から大気の状態が不安定となり所々で激しい雨が降り、特に29日は飛騨地方を中心に大雨となりました。

(8月)

【天気概況】

太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、寒気を伴った気圧の谷や南からの湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となり雷雨となった所がありました。

月平均気温は岐阜、高山ともに高くなりました。月降水量は岐阜では平年並となり、高山では多くなりました。月間日照時間は岐阜、高山ともに多くなりました。

【上旬】高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、旬の中頃は湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となり、激しい雨の降った日がありました。特に、6日は寒気を伴った上空の気圧の谷が通過したため所々で非常に激しい雨が降りました。

【中旬】前半は、南からの湿った空気や日本付近に停滞した前線の影響で曇りや雨の日が多く、11日の午後と13日から14日にかけて所々で激しい雨が降りました。後半は太平洋高気圧に覆われて晴れましたが、17日から18日は南からの湿った空気や上空の寒気の影響で所々で激しい雨が降りました。

【下旬】高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、旬の終わりは、天気がぐずってきました。特に30日と31日は、南からの湿った空気や寒気を伴った上空の気圧の谷の影響で、激しい雨が降りました。

(9月)

【天気概況】

上旬と中旬は、上空の寒気や南からの湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多くなりましたが、下旬の後半は高気圧に覆われて晴れの日が続きました。18日から19日は、南からの湿った空気の影響で、非常に激しい雨が降り、また、月の終わりには台風第17号の影響で大荒れの天気となりました。月平均気温は岐阜では高くなり、高山ではかなり高くなりました。月降水量は岐阜、高山ともに平年並となりました。月間日照時間は岐阜では多くなり、高山ではかなり多くなりました。

【上旬】 高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、上空の寒気や南からの湿った空気の影響で天気がぐずつきました。特に2日から3日や7日、8日は雷を伴った激しい雨が降りました。

【中旬】 高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、南からの湿った空気の影響で、美濃地方を中心に曇りや雨の日が多く、激しい雨の降った日もありました。特に11日や15日、18日から19日は、非常に激しい雨の降った所がありました。

【下旬】 前半は天気が短い周期で変わりましたが、後半は高気圧に覆われて晴れの日が続いた時期がありました。旬の終わりは台風第17号の影響で大荒れの天気となりました。

(10月)

【天気概況】

月を通して高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。月平均気温は岐阜では高くなり、高山では平年並でした。月降水量は岐阜では少なくなり、高山では平年並となりました。月間日照時間は岐阜、高山ともにかなり多くなりました。

【上旬】 気圧の谷の影響を受けた日もありましたが、天気の崩れは小さく、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

【中旬】 気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

【下旬】 移動性高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、23日と28日は本州付近を通過した前線の影響で雨が降りました。

(11月)

【天気概況】

美濃地方では天気が周期的に変わりましたが、気圧の谷や低気圧の影響を受けることが多く、また気圧の谷の通過後はしばしば寒気が南下したため、飛騨地方は曇りや雨または雪の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに低くなりました。月降水量は岐阜、高山ともに多くなりました。月間日照時間は岐阜では平年並となり、高山では少なくなりました。

【上旬】 移動性高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、気圧の谷や寒気の影響で飛騨地方を中心に曇りの日が多く、雨の降った日もありました。

【中旬】 美濃地方では天気が短い周期で変わりましたが、飛騨地方では寒気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなりました。旬の中頃には、この時期としては強い寒気が南下して山地で雪の降った日がありました。

【下旬】 天気が周期的に変わりました。低気圧や気圧の谷の通過後は寒気が南下して、冷え込んだ日がありました。

(12月)

【天気概況】

寒気の影響を受けやすく、飛騨地方では曇りや雨または雪の日が多くなりました。また日本付近はしばしば低気圧が通過したため、美濃地方では、この時期としては曇りや雨または雪の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜ではかなり低くなり、高山では低くなりました。月降水量は岐阜ではかなり多くなり、高山では多くなりました。月間日照時間は岐阜では少なくなり、高山では平年並となりました。

【上旬】 飛騨地方を中心に曇りや雪または雨の日が多くなりました。旬の終わりには、強い寒気が南下して山地を中心に大雪となり、平地でも大雪となった所がありました。

【中旬】 冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。旬の中頃には日本付近を低気圧が通過して天気の崩れた日があり、特に15日はこの時期としては雨量が多くなりました。

【下旬】 低気圧や気圧の谷の影響により、曇りや雨または雪の日が多くなりました。